

発議第5号

風疹の予防接種に関する必要な措置を講じることを求める意見書について

風疹の予防接種に関する必要な措置を講じることを求める意見書を次のとおり提出する。

平成25年6月21日 提出

松阪市議会議員	西村友志
	松田俊助
	中村良子
	山本芳敬
	田中祐治
	川口保
	久松倫生
	野口正
	水谷晴夫

風疹の予防接種に関する必要な措置を講じることを求める意見書

国立感染症研究所感染症情報センターは、今年の風疹の患者報告数が、2013年5月1日時点で、5,442人（うち三重県は30人）と発表した。この数は、昨年同期に比べ約38倍に上り、今後もふえ続けると懸念されている。今後の流行・拡大を防ぐためにも、予防接種を受けることがこれまで以上に重要となってきた。

現在、定期接種の対象は、1歳児（第一期）と小学校入学前1年間（第二期）であるが、流行の中心となっているのは、患者数の約8割近くを占めている20代から40代の男性で、この世代は未接種者が多い世代と言われている。

また、妊娠初期の女性が風疹に感染すると、胎児に先天性風疹症候群の障害が出る恐れがあり、2012年以降先天性風疹症候群は全国で8人が発症している。

このような中、特に重篤な影響を及ぼす可能性のある妊婦への感染を防ぎ、先天性風疹症候群の発生を防止することが重要であることから、妊娠前に予防接種を受けることが重要視されている。

本市では、こうした状況を踏まえ、三重県下でも早々に、妊娠を予定または希望する女性、妊婦の夫及び同居家族を対象に緊急措置として公費助成を決定したところである。

よって、国においては、全国の多数の自治体で風疹の予防接種に対する公費助成が行われている中、住民の命と健康を守るため、予防接種未接種者が予防接種を受ける

ために必要な措置を講じるとともに、県や各自治体が行う公費助成等に対し、財政措置を講じることを強く要望する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 25 年 6 月 21 日

三重県松阪市議会議長 中 森 弘 幸